

自動車エンジン用など 高品質の検査治具で定評

海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイトイン
ジャパン
試作可
小ロット



シリンダーヘッド検査治具

業務内容
迅速に要望反映し
測定器などを製造

量産工場などで使用する検査治具を製造する同社は、自動車業界向けの製品が売上げの95%を占め、なかでも自動車エンジン用検査治具が主力製品となっている。平成17年に鹿児島工場（鹿児島県曾根市）を開設したことで生産能力を高め、高品質、短納期など顧客のあらゆるニーズに対応できる体制を整えた。

自動車エンジン用の検査治具は新規参入が難しく同業者が少ないため、海外の自動車メーカーからの引き合いもある。また、一部の切削加工を除き設計から組立、完成品の検査・調整までを行っており、ユーザーと協力して製造を進めることで要望を迅速に反映できるという特徴もある。

強み
3次元CADでの設計で
顧客の要望に応える

同社の強みは設計と検査にある。自動車エンジン検査治具は形状が複雑でひとつとして同じものはないが、同社は数年前から3次元CADを用いた設計を実施しており、顧客の要望に応じた新しい提案などもスピーディーに示せるようになった。

また、自動車用部品はドライバーたちの安全を守るために絶対欠陥があつてはならず、検査治具にも最高級の品質が求められる。同社は3次元測定器をはじめ、デジタル測長器、ブロックゲージなど検査用設備の充実を進めることで品質管理体制を強化し、顧客の信頼に込めている。

品質重視
短納期・高品質を両立
質の保持へ熟練の技継承

「納期短縮は当たり前。短納期と高品質

を同時に達成してこそ、顧客の信頼を勝ち取ることができる」と、上岡信貴社長は話す。同社は3次元測定機の上で製品を組み立てるという方法により、その両立を達成している。組立と検査・調整を同時に進めることで、極めて高い品質の検査治具を短期間で完成させられるという。

また、形状が複雑な自動車エンジン用検査治具の組立・調整は人の手でしか行えない。そのため、ベテランの技術者がOJTにより若手従業員に指導し、技術を継承することで高い品質を保つ努力をしている。

今後の展望
市場開拓を目指し
人材育成にも注力

自動車エンジン用検査治具が売上げのほとんどを占めるのは「強みでも弱みでもある」という。景気や為替の変動により、売上げが大きく左右されるからだ。同社では自動車分野以外の市場開拓を目指しており、展示会などに積極的出展することで情報収集と人的ネットワークの充実を図っている。今後、有望と考えているのは医療分野だ。

人材の育成にも一段と力を入れる。自動車市場は変化が激しく、検査治具の製作にも臨機応変さが求められるうえ、安全安心が最優先となる。そのため、技術者のスキル向上がさらに重要だと考えている。



組立が主力の鹿児島工場



本社工場では設計を担う

当社の歴史



当社は私の父である上岡一郎が創業しました。ゲージの製造から始めた企業ですが、業容を広げてゆき平成11年に自動車エンジン用検査治具の製品開発に着手しました。同17年に稼働した鹿児島工場を組立の主力工場とし、本社は営業と設計を主とするという体制を整えています。

代表取締役 上岡 信貴さん

<https://www.kjo.co.jp/>

主な事業内容

自動車エンジン用検査治具を主とする精密測定機器の製造

主な取引先(納入先)

自動車メーカー、自動車部品供給メーカー

●住所 〒581-0043
八尾市
空港1-186
●TEL 072-996-8188
●FAX 072-922-4001
●創業 昭和55年4月
●設立 平成2年5月
●資本金 3,000万円
●従業員 14名

大版30